

令和5年（2023年）の福徳岡ノ場の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

気象衛星ひまわりによる観測では、噴火は認められませんでした。
海上保安庁が6月、9月及び10月に実施した観測では、変色水が認められました。

○ 噴火警報・予報の状況、2023年の発表履歴

2023年中変更なし	噴火警報（周辺海域） 火山現象に関する海上警報（周辺海域警戒）
------------	------------------------------------

○ 2023年の活動概況

気象衛星ひまわりによる観測では、噴火は認められませんでした。
海上保安庁が6月14日、9月20日及び10月4日に実施した上空からの観測結果によると、変色水が確認されました。

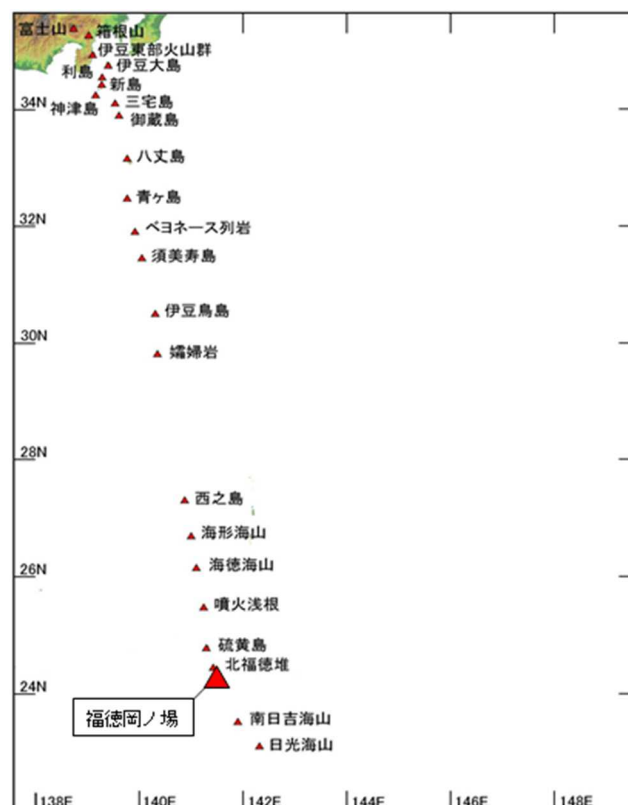


図1 福徳岡ノ場 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福徳岡ノ場
地図は、日本活火山総覧（第4版）から引用。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、海上自衛隊、海上保安庁及び第三管区海上保安本部のデータも利用して作成しています。
資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

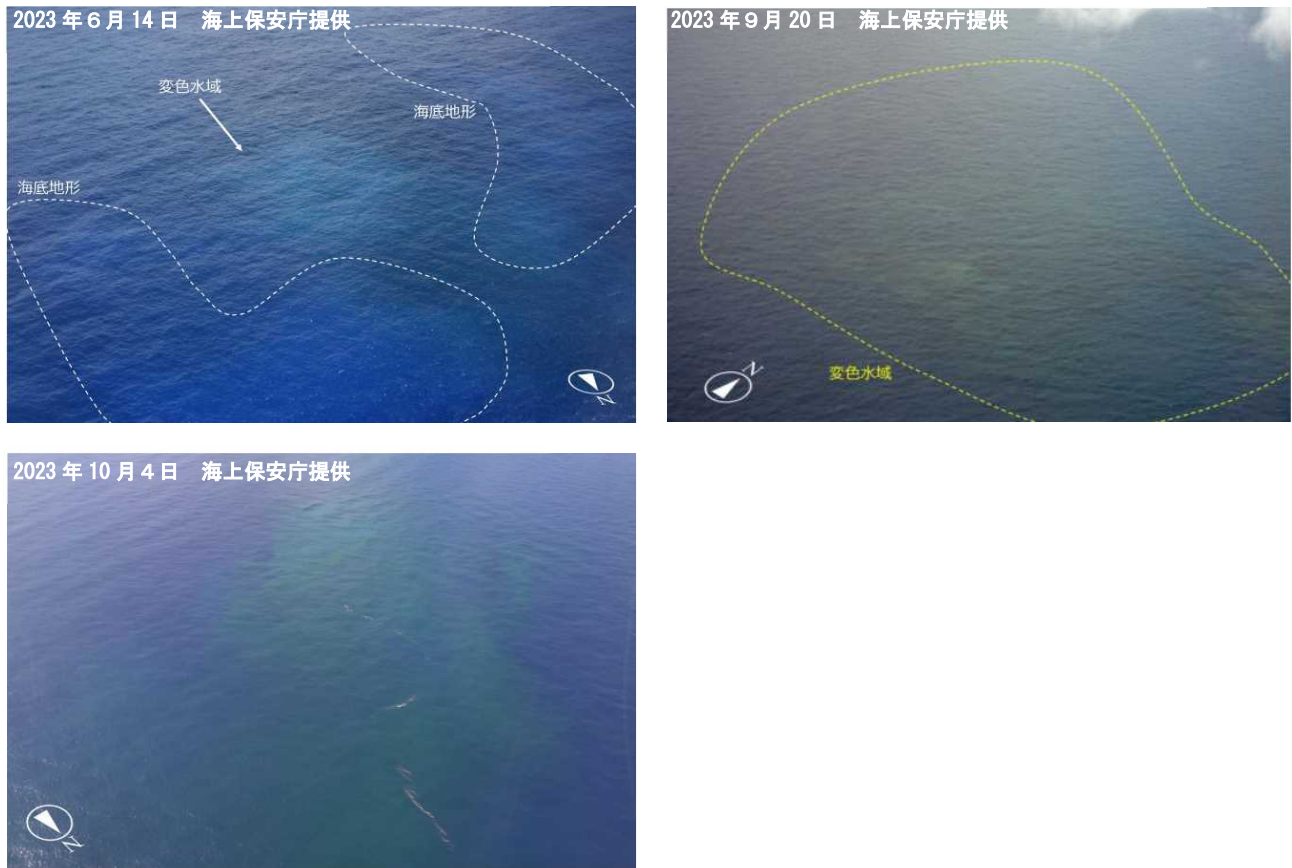


図2 福徳岡ノ場 海上保安庁による上空からの観測結果

- ・(左上) 6月14日には、福徳岡ノ場から西方向に長さ約3,000～4,000mに渡って流れる薄い緑色の変色水が認められました。
- ・(右上) 9月20日には、福徳岡ノ場付近に薄い黄緑色～薄い緑色の変色水が認められました。
- ・(左下) 10月4日には、福徳岡ノ場のほぼ直上に薄い黄緑色～薄い緑色の変色水と、発生源は不明ですが帯状の茶褐色の浮遊物が認められました。

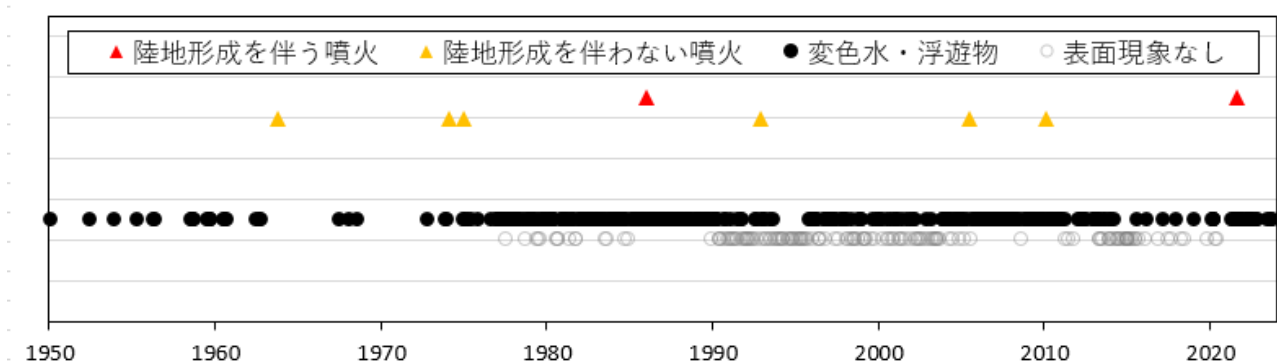


図3 福徳岡ノ場 1950年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。●は変色水域や浮遊物が認められた観測、○は変色水域を含め特段の表面現象が認められなかった観測、▲は陸地形成を伴う噴火が認められた観測、▲は陸地形成を伴わない噴火が認められた観測を示します。

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊、気象庁、漁船及び報道機関等の観測による。